



四国ブロック

発行人：阿波谷,大原,板東,川本,澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・森田宛
Tel.087-876-1185
Fax.087-876-3795

★1 第17回日本PC連合学会四国地方会／第24回四国地域医学研究会 合同学術集会の開催について

大会長 佐野 良仁 (佐野内科リハビリテーション・クリニック院長)

大会事務局長 澤田 努 (高知医療センター総合診療科)

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。毎年、四国四県持ち回りで開催されてきました本会であり、今年が高知において開催する順番となりました。詳細は別紙に示し、下記にポイントを記します。

第17回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会

第24回四国地域医学研究会 合同学術集会の開催について

1. 日 程：平成29年11月18日(土曜日)・19日(日曜日)

2. 場 所：高知医療センター (右図)

〒781-8555 高知市池 2125-1

URL：<http://www2.khsc.or.jp/>

3. プログラム (予定)

平成29年11月18日(土曜日)

13:00～13:30 四国地域医学研究会総会

※地域医療振興協会の会員の方であればどなたでも参加できます

13:30 受付開始

14:00 開会

14:15 基調講演「地域を診る医師を地域で育てる～地域全体を俯瞰する総合診療の視点～」

講師 松村 正巳 (まつむらまさみ) 先生

自治医科大学地域医療学センター総合診療部門教授

15:40 臨床推論ケースカンファレンス

+スキルアップハンズオンセミナー

臨床推論の中で実際にグラム染色実習を組み合わせ、参加された皆さまと一緒に症例検討会・討議を行います。総合診療医として、様々な疾患を想起したうえで、診断に迫る過程の検査も実際に行ってみて、実臨床さながら、考察も含めて診断に迫る過程と治療方針の決定を共有したいと考えます。

18:30 懇親会：オリентホテル高知

URL：<http://www.orienthotel.jp/index.php>

〒780-0861 高知市升形 5-37

TEL：088-822-6565



第17回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会
第24回四国地域医学研究会 合同学術集会

「地域を診る医師を地域で育てる
～地域全体を俯瞰する総合診療の視点～」



会期 平成29年11月18日(土曜日)～19日(日曜日)

会場 高知医療センターくろしおホール

会長 佐野 良仁 佐野内科リハビリテーション
クリニック院長

演題募集期間

平成29年9月1日(金)～10月9日(月)

学会事務局 〒781-8555 高知県高知市池2125-1 総合診療科 澤田 努

TEL 088-837-3000(代表) FAX 088-837-6771

E-Mail: pc4shikoku@gmail.com

大会事務局ホームページ: <http://www2c.biglobe.ne.jp/~t-sawada/sikokupc.htm>

平成 29 年 11 月 19 日 (日曜日)

8:30 学会認定家庭医療専門後期研修医によるポートフォリオ発表会

9:30 一般演題

12:30 次回開催県挨拶、閉会

12:30~13:00 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部総会

13:00 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部役員会 (役員のみ)

※地方会終了後にキャリア Café mini を開催します (主催) 男女共同参画委員会

開催時間) 12 時 30 分~13 時 30 分、場所) くろしおホール前ロビー

4. 会 費

大会参加費 1,000 円 (医師・歯科医師) 無料(研修医、学生、他職種)

懇親会 5,000 円 (医師・歯科医師) 3,000 円 (研修医、他職種) 無料 (学生)

5. 単 位

日本プライマリ・ケア連合学会認定医更新単位 (4 単位: 予定)

6. 参加申し込み

大会参加の事前申し込みは不要です。

※懇親会は事前申し込みが必要です。10 月 21 日 (土) までに下記連絡先 (学会事務局) にお知らせください。

7. 一般演題募集要項

(1) 内容はプライマリ・ケアに関するものであればエントリー可能です。

(2) 発表時間は質疑応答を含め、1 題 7 分を考えていますが演題数により調整させていただくことがあります。

(3) 演題の採否については、事務局で検討の上決定いたします。詳細は別紙で示します。

8. 大会参加・演題発表に関する申し込み先

第 17 回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会、第 24 回四国地域医学研究会
合同学術集会事務局

高知医療センター総合診療科 澤田 努(さわだつとむ)

〒781-8555 高知県高知市池 2125-1

TEL 088-837-3000 (代表) FAX 088-837-6771

E-Mail: pc4shikoku@gmail.com

大会事務局ホームページ <http://www2c.biglobe.ne.jp/~t-sawada/sikokupc.htm>

★2 第 8 回日本 PC 連合学会学術大会について御礼およびご報告

第 8 回日本 PC 連合学会学術大会長 板東浩

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成 29 年 5 月 13 日、14 日に高松市で開催されました第 8 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会では、多大なるご助力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、大会の決算について 8 月の理事会で報告されましたので、概要を示します。参加者数は 4,516 名であり、その内訳は、事前・早期が 1,750 名、事前・通常が 559 名、当日 12 日が 39 名、当日 13・14 日が 2,168 名となっております。セッション数 (演題数) は、シンポジウム 18、ワークショップ 35、プレコングレスワークショップ 24、インタレストグループ 15、一般演題高等 212 演題、一般演題ポスター 343 円台、国際セッション口演 10 題、国際セッションポスター 26 題でした。収支決算については、収入合計 71,106,000 円、支出合計 71,097,068 円、予備費 8,932 円とわずかに黒字になりました。

以上、みなさまのご理解ご協力を重ね重ね御礼申し上げ、ご報告致します。ありがとうございました。

★3 「2017年度高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラム/高知大学医学部総合医・家庭医養成後期研修プログラム合同-指導医講習会&ポートフォリオ発表会」開催報告

高知県立あき総合病院 森尾真明

平成29年7月15日(土)、高知市内の高知共済会館にて標記の会が開催されました。高知県立病院群プログラムでは、年1回、Faculty Development として指導医講習会を開催しています。今回はポートフォリオ発表会と二部構成とし、日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医更新単位(3.5単位)、プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位(2単位)も取得可能な内容でした。当日は、プログラム内外から15名の方にご参加いただきました。

〈第一部〉指導医講習会「ビデオレビューをレビューする」

愛媛生協病院の原穂高先生をお招きし、御講演いただきました。

ビデオレビューについての概要のお話があり、その後、原先生自身の外来診療の動画をみて、グループワークを行いました。

ビデオレビューは学習者にストレス(～トラウマも?)を与えるリスクはあるが、学習者が自身を客観視できて、学習インパクトが高いこと、またコミュニケーション、臨床判断力、外来診療の組み立ての指導に適しているなどのメリット

があるなど、専攻医の成長にとって意義があることなどお話いただきました。

〈第二部〉ポートフォリオ発表会

4名の専攻医よりポートフォリオを発表していただきました。

- ①幡多けんみん病院・安井渉先生(BPSモデル) ※
- ②嶺北中央病院・大窪秀直先生(統合的ケア)
- ③あき総合病院・山田亜里奈先生(BPSモデル)
- ④梶原病院・江田雅志先生(地域包括ケア)

※括弧内：ポートフォリオ・テーマ

各研修施設で複雑な事例に悩みながら真正面から向き合い、家庭医療専門医にむけて着実に成長していていることが伝わってきました。多くの方とディスカッションすることができ、参加者全体で

もいい学びになりました。

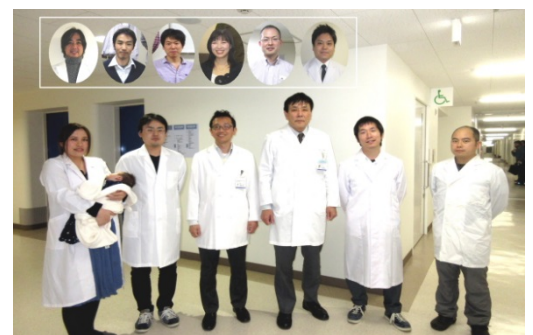
★4 徳島大学病院に総合診療部の開設と最近の動き

徳島大学病院総合診療部 谷憲治

徳島大学病院に総合診療部が開設され、最近の動向をご報告します。

1) 徳島大学病院で総合診療外来開始(図1)：谷憲治医師が徳島大学病院に新設された総合診療部の部長・教授に就任し、徳島大学の総診スタッフとともに2017年6月から外来診療を開始しました。診断がついていない患者さん、疾患臓器が特定できない患者さん、あるいは複雑な要因の関与が推測される患者さんなどが主な診療対象となります。具体的な対象患者としては以下ようになります。

- a) 診断がついていない初診患者さんに対する初期診断・初期治療
- b) 複数の治療を要する病気を合併している高齢者など



- c) 精神的・社会的要素など複雑な要因の関与が推測されるケース
- d) 病院などで検査や治療を受けているにもかかわらず診断がつかない・改善しないケース原因臓器に限定されない包括的診療を必要とする方

2) 第20回 徳島地域医療教育研究会の開催 (図2): 恒例の徳島地域医療教育研究会 (第20回) を徳島駅前のクレメントホテル徳島



で主催しました。今回は、最初を選択実習1で地域医療実習を選択した5年生5名の実習報告を行いました。その後の特別講演には愛媛大学の川本龍一先生にお越しいただき、愛媛県地域医療教育や愛媛大学病院の総合診療外来の活動などを紹介していただきました。徳島大学病院でも本年6月から総合診療外来が開始されており、大変参考になるお話をいただきました。懇親会も開催され、地域医療の現場と医学生教育に関わる先生方と地域医療に関心の高い医学生との交流の場となりました。



3) 地医輝連 2017年の阿波踊り (図3、4): 徳島の地域医療を盛り上げようと結成された徳島大学の医学生サークル「地域医療研究会」のメンバーたちによる阿波踊り連「地医輝 (ちいき) 連」は、8年目を迎えた今年も8月14日に徳島市内の演舞場で元気いっぱいの踊りを披露しました。徳島県出身の自治医科大学生との合同連として将来徳島の地域医療に貢献する気持ちを持った医学生たちが阿波踊りを通して学生時代から親睦を深めつつ、地医輝連の法被を身にまとい、蜂須賀連の皆さんの踊りと鳴り物とともに楽しい乱舞を繰り広げました。

★5 香川プライマリ・ケア研究会について

香川県・綾川町国民健康保険陶病院 大原昌樹

2017年9月3日(日)13~16時半にJRホテルクレメント高松において、「香川プライマリ・ケア研究会」が開催されます。香川プライマリ・ケア研究会は、県内医療福祉13職能団体(医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、栄養士会、臨床検査技師会、歯科衛生士会、介護福祉士会、ホームヘルパー協議会、介護支援専門員協議会)と県で構成されています。

今回の一般演題は、10職能団体と香川県からの11演題の多彩は発表が予定されています。また、特別講演には、神戸大学感染症内科診療科長岩田健太郎先生をお招きして、「プライマリ・ケアにおける感染症対策」の演題でお話いただくことにしております。次号にて報告させていただきます。

★6 愛媛PC研究会および愛媛県サマーセミナーが開催

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

このたびは、下記の2つの研究会が開催されました。

1) 第17回愛媛プライマリ・ケア研究会 平成27年7月1日(土曜日)

【開会挨拶】かとうクリニック 加藤 正隆 先生

【一般演題1~3】16:00-16:30 {テーマ:症例報告・臨床推論}

演題1「痛風を30年放置するとこうなる。」

愛媛生協病院

水本 潤希 先生

演題2「激しい後頸部痛と嚥下時痛があるのに、髄膜炎でも咽後膿瘍でもない。」

愛媛生協病院

原 穂高 先生

演題3 「穿孔性腹膜炎の1剖検例」

済生会松山病院 臨床研修センター 藤岡 耀祐 先生

演題4 「愛媛大学医学部附属病院における総合診療科外来の現状」

愛媛大学医学部附属病院 総合診療科 助教 千崎 健佑 先生

演題5 「総合内科医による「ヒフミルくん」の活用とその有用性」

愛媛大学大学院医学研究科地域医療学 准教授 熊木 天児 先生

【特別講演1】

座長：愛媛十全医療学院附属病院 副院長 高原 完祐 先生

「プライマリ・ケアにおける肥満治療について」

愛媛大学大学院医学系研究科 地域生活習慣病・内分泌学

教授 松浦 文三 先生

【特別講演2】

座長：愛媛大学大学院地域医療学講座 教授 川本 龍一 先生

「医師の偏在、広島大学での地域診療教育」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 地域医療システム学講座

教授 松本 正俊 先生

本年度は、一般演題ではプライマリ・ケアに相応しい5題の演題の発表が行われ、特別講演では広島大学大

大学院医歯薬保健学研

究院 地域医療シス

テム学講座 教授の

松本正俊先生により

「医師の偏在の現状

とその要因」と題し

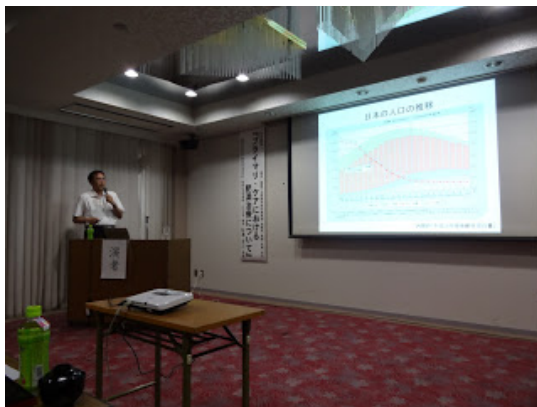
て自身の調査データ

を用いて詳しくご紹介

いただきました。

その後、居酒屋へ移

動して懇親会。お酒も入りざっくばらんに大いに盛り上がりました。



2) 平成29年度愛媛県サマーセミナー 平成29年8月19日(土曜日)

愛媛県庁にて平成29年度愛媛県サマーセミナーが行われました。対象は愛媛県出身の自治医科大学医学生、

愛媛大学医学部地域枠学生、さら

には愛媛の地域医療に興味の

ある医学生。県内の市町村行政

担当者(新居浜市・久万高原町・

宇和島市・松野町)からは地域

の魅力や現状に関する発表、卒

後県内で研修を受けている地域

枠学生や自治医大の卒業生から

は研修に関する報告がなされま



した。その後、参加者間での交流の後に、各地域を考えるグループに分かれ、地域診断と将来構想に関するワークショップが行われました。参加者からは、初めて知る地域もあり、愛媛の地域医療に貢献したいという動機づけになったとの意見が多く聞かれました。